

平成 26年度 とちぎ夢大地応援団 カレッジ活動

「栃木市大柿地区」

第2回活動報告 H26・6・14(土)

第2回とちぎ夢大地応援団カレッジ活動が6月14日、栃木市都賀町大柿の大柿コミュニティセンター近くの水田などで、足利短期大学生や大柿地区グリーンツーリズム推進協議会員ら55人が参加して行われました。

今回のカレッジには、足利短大のこども学科1年生で前回大田原市須賀川の第1回カレッジに参加した学生以外の33人が参加し、ヒガンバナ群生地から球根を掘り起こして、同地区の国道沿いの水田周りの土手に球根を植える作業を行いました。

カレッジ活動を受け入れた同地区協議会の安生会長は「大柿をヒガンバナで埋め尽くすには人手がかかる。学生に手伝ってもらえて助かる」と話していました。また、参加した学生からは「自然に触れ合え貴重な体験ができた」「ボランティアの楽しさを知った」といった感想が聞かれました。



開会式であいさつする南斎県農政部次長



同じく安生グリーンツーリズム推進協議会長



安生会長からヒガンバナの球根の掘り起こし方を教わる



汗だくになりながらの掘取り作業



草刈りにチャレンジする学生

休憩時に記念撮影
保育士を目指すだけ
あって、体いっぱい
で感情表現





安生会長から地域のことなどについて話を聞く



昼食は地元の人が焼きそばを焼いてくれました



地元の人から麦わら細工をもらって大喜び



球根の植付け方を教わる



地区内の国道沿いや水田周りの土手に植付け

